

認 定 書

国住指第 3787 号
令和 2 年 3 月 13 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0986
2. 認定をした構造方法等の名称
無機質系粉粒混入合成樹脂塗装壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

無機質系粉粒混入合成樹脂塗装壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平面 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の 厚 さ(mm)	5.0 \pm 0.5以下
表面化粧材の 質量(g/m ²)	2000.0 \pm 100.0以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>無機質系粉粒混入合成樹脂塗装壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ5.0 ± 0.5mm以下 ・ 質量2000.0 ± 200.0g/m²以下(有機質量170.0 ± 17.0g/m²以下) ・ 構成 : <ul style="list-style-type: none"> [1]化粧 : (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量70.0 ± 7.0g/m²(固形量)以下(有機質量20.0 ± 2.0g/m²以下) ・ 構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} 20.0 ± 2.0 (但し、ポリエステル系を含む場合は16.0 ± 1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0 ± 1.0以下とする) 有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} 20.0 ± 2.0 合成樹脂インキ^{※5} 20.0 ± 2.0 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 46.0 \pm 4.6$ 無機質系添加剤^{※7} $0 \sim 4.0 \pm 0.4$ (2) なし [2]主素材 : (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 無機質系粉粒 ([1]化粧が(2)の場合に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ4.5 ± 0.5mm以下 ・ 質量1800 ± 180.0g/m²以下(有機質量90.0 ± 9.0g/m²以下) ・ 構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 無機質系粉粒^{※9} $40 \pm 4.0 \sim 1550.0 \pm 155.0$ 植物系粉粒^{※8} $0 \sim 60.0 \pm 6.0$ 合成樹脂^{※1}系粉粒 $0 \sim 60.0 \pm 6.0$ (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は$0 \sim 48.0 \pm 4.8$、 ポリエチレン系を含む場合は$0 \sim 30.0 \pm 3.0$とする) 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} $10.0 \pm 1.0 \sim 78.0 \pm 7.8$ (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は$8.0 \pm 0.8 \sim 62.4 \pm 6.2$、 ポリエチレン系を含む場合は$5.0 \pm 0.5 \sim 39.0 \pm 3.9$とする) 有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} $0 \sim 8.0 \pm 0.8$ 無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 146.0 \pm 14.6$ 無機質系添加剤^{※7} $0 \sim 14.0 \pm 1.4$ (但し、無機質系粉粒が、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)

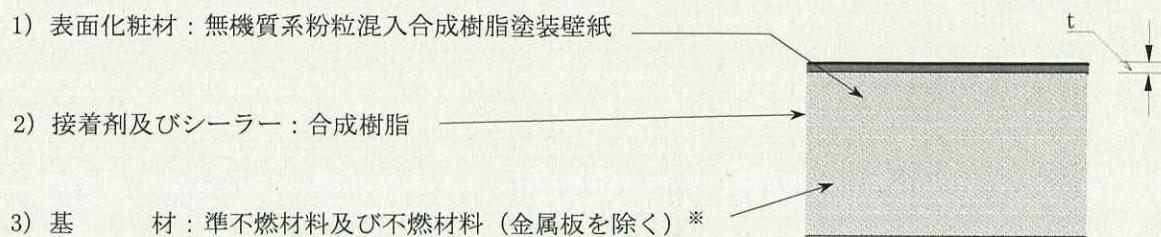
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 無機質系粉粒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ4.5 ± 0.5mm以下 ・質量1730.0 ± 173.0g/m²以下(有機質量70.0 ± 7.0g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 無機質系粉粒^{※9} $40 \pm 4.0 \sim 1550.0 \pm 155.0$ 植物系粉粒^{※8} $0 \sim 60.0 \pm 6.0$ 合成樹脂^{※1}系粉粒 $0 \sim 60.0 \pm 6.0$ <p>(但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は$0 \sim 48.0 \pm 4.8$、 ポリエチレン系を含む場合は$0 \sim 30.0 \pm 3.0$とする)</p> <p>合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} $10.0 \pm 1.0 \sim 58.0 \pm 5.8$</p> <p>(但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は$8.0 \pm 0.8 \sim 46.4 \pm 4.6$ ポリエチレン系を含む場合は$5.0 \pm 0.5 \sim 29.0 \pm 2.9$とする)</p> <p>有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} $0 \sim 8.0 \pm 0.8$</p> <p>無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 100.0 \pm 10.0$</p> <p>無機質系添加剤^{※7} $0 \sim 10.0 \pm 1.0$</p> <p>(但し、無機質系粉粒が、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)</p>
	<p>[3]裏打材^{※10} :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ0.5 ± 0.05mm以下、質量200 ± 20.0g/m²以下(有機質量80.0 ± 8.0g/m²以下) ・構成(g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px; line-height: 1;">{</div> <div> <p>①有機繊維^{※11} 80 ± 8.0以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は19.2 ± 1.9以下とし、かつ有機質量を73.0 ± 7.3以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} 10.8 ± 1.1以下</p> <p>有機繊維^{※11} 57.0 ± 5.7以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を58.0 ± 5.8以下とする。有機繊維^{※11}として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0 \pm 0.1 \sim 20.6 \pm 2.1$とする。)</p> </div> </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px; line-height: 1;">{</div> <div> <p>①無機質系充てん材、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 120 \pm 12.0$</p> <p>②なし</p> </div> </div>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1：合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルアクリン系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、ワックス系、ニトロセルロース系、エチレングリコール系、マレイン酸系、ポリエチレン系、ポリビニルアルコール系、ビニリデン系、ナイロン系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2：天然樹脂は、セラック系、ニカリ系、ワニス系、澱粉系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3：有機質系顔料とは、アゾ系、フタロシアニン系、縮合多環系、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4：有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボンアミド系、オキシスベンゼンホルミトラジド系）、防かび剤、有機系機能性材料剤、のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5：合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6：無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、金属粉（アルミニウム）、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7：無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8：植物系粉粒は、木粉、藁、木毛、白木、イグサ、粃殻、セルロースのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9：無機質系粉粒は、シリカ、ひる石、セオライト、珪藻土、マイカ、ガラス、クレー、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金、軽石、バーライト、水酸化カルシウム、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10：裏打材は、紙、無機質紙、不織布（non woven paper）のいずれかとする。</p> <p>※11：有機繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、アセート、セルロース系繊維、合成樹脂系繊維^{※11}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12：合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリビニルアルコール、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]でん粉系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤^{※13} $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂^{※14} <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]メチルセルロース系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40_{\pm 4}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤^{※13} $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂^{※14} <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g}/\text{m}^2$ 以下) <p>※13：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする</p> <p>※14：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)



$t = 5.0$ 以下

※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの